

環境方針

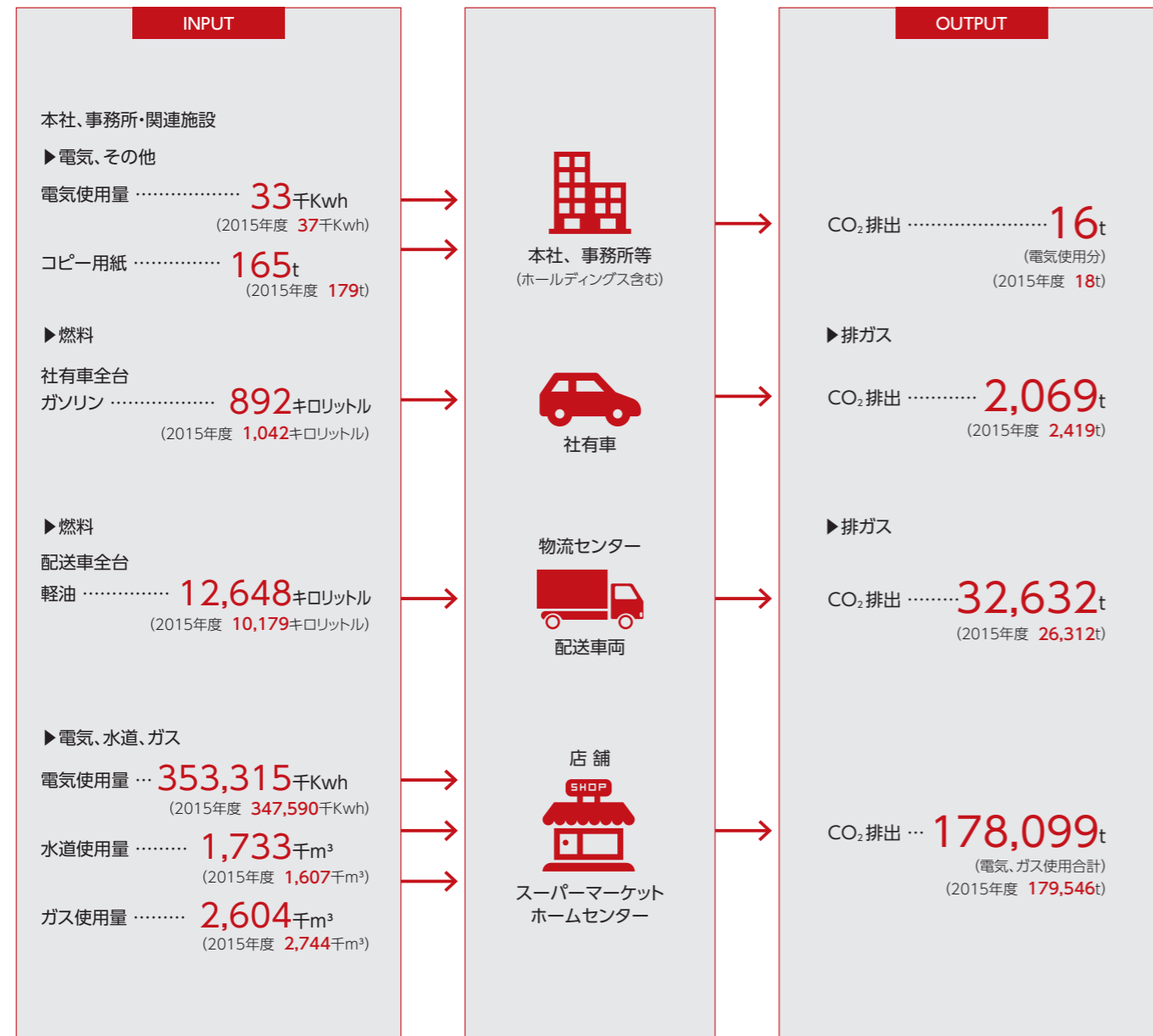
当社は事業活動による環境負荷の削減を重要な課題であると認識し、その達成のために取り組み課題を掲げ、地域社会と共に、これに挑戦します。



取り組み課題

- 1.省エネルギー・省資源を中心とするCO₂排出削減
- 2.食品廃棄物、その他の廃棄物の削減
- 3.エコ商品の販売拡大
- 4.グリーン購入の推進

マテリアルフロー



注：(株)パローホールディングス、(株)パロー、(株)ホームセンターパローを対象に算出。物流センターの燃料については中部興産(株)の保有並びに備車による配送車全台を対象に算出。

活動ハイライト

当年度の主な管理項目の実績値を、次年度以降のパフォーマンス指標の基準値とします。今後も更なる取り組みを推進し、環境に、社会に、そしてお客様の生活により貢献できるよう努めてまいります。

環境パフォーマンス

管理項目	具体的な取り組み	2015年度実績	2016年度目標	2016年度実績	評価	結果	2017年度目標
二酸化炭素の抑制	電力消費量の削減	原単位 508 (電力消費量/売場面積) (DC使用を除く) 原単位前年度比 △3.2%	原単位 503 (DC使用を除く) 原単位前年度比 △1%	原単位 500 (DC使用を除く) 原単位前年度比 △0.6%	△	スーパーマーケットの店舗において主照明以外の照明をLEDに変更し、電力使用効率を改善しました。今後も効率的な機器導入等を視野に入れ、電力消費量の削減に取り組んでまいります。	原単位 495 (DC使用を除く) 原単位前年度比 △1%
	省エネルギー運転	物流トラック ・アイドリングストップの励行 ・省エネ運転の指導・教育 前年度比 ・走行距離…107% ・燃料使用量…110% ・燃費…103%	燃費 △1%	前年度比 ・走行距離…119% ・燃料使用量…124% ・燃費…96%	△	遠隔地の店舗が増え、走行距離・燃料使用量とも増加しましたが、燃費は向上いたしました。	燃費 △1%
廃棄物の削減	レジ袋の辞退率の向上	レジ袋辞退率 84.7% ((株)パロー全店)	レジ袋辞退率 87.0% ((株)パロー全店)	レジ袋辞退率 85.7% ((株)パロー全店)	△	前年度比1.0%改善し、レジ袋有料化店舗は225店舗(前年度224店舗)となりました。今後ともお客様と共に削減活動を進めてまいります。	レジ袋辞退率 87.0% ((株)パロー全店)
	食品廃棄物の発生抑制	計画生産の実施 ・早期小値引きの実施 ・夕方以降の品揃え見直しと量目調整 発生原単位 (発生量/売上高) 0.0536 原単位前年度比 109.7%	発生原単位 0.0530 原単位前年度比 99%	発生原単位 0.0625 原単位前年度比 116.6%	×	引き続き食品廃棄物を減らすよう努めてまいります。	発生原単位 0.0530 原単位前年度比 85%
リサイクルの推進	食品残渣のリサイクルの推進	食品残渣リサイクル店舗数 …… 223店	食品残渣リサイクル店舗数 …… 230店	食品残渣リサイクル店舗数 …… 238店	◎	リサイクル店舗数を増やすとともに、廃棄商品量を減らす取り組みを進めてまいります。	食品残渣リサイクル店舗数 …… 240店
	古紙のリサイクルの推進	分別して指定の場所に保管 ・リサイクル店舗の拡大 ・古紙リサイクル店舗数…67店舗 ・リサイクル量 52,318Kg	古紙リサイクル店舗数…80店舗 ・リサイクル量 52,500Kg (前年度比100%)	古紙リサイクル店舗数…87店舗 ・リサイクル量 98,105Kg (前年度比187.5%)	◎	営業活動によって生じた不要なコピー用紙等を雑がみとしてリサイクルする店舗を増やすなど、リサイクル量を増やしました。今後回収の仕組みを併せて見直してまいります。	古紙リサイクル店舗数…100店舗 ・リサイクル量 111,800Kg (前年度比 114%)
	容器・包装リサイクル等の推進	リサイクルボックスの増設 ・リサイクル可能な対象品の拡大 ・リサイクルステーションの見直し リサイクルボックス設置店舗数 ・牛乳…235店舗 ・アルミ缶、スチール缶…226店舗 ・トレイ…226店舗 ・ペットボトル…223店舗	リサイクルボックス設置店舗の拡大 リサイクルボックス設置店舗数 ・牛乳…235店舗 ・アルミ缶、スチール缶…238店舗 ・トレイ…229店舗 ・ペットボトル…222店舗	◎	大型のリサイクルボックスの更なる設置と回収可能な品目を拡大することが今後の課題となります。	リサイクルボックス設置店舗の拡大	

注：「二酸化炭素の抑制」は、(株)パロー、(株)ホームセンターパローを対象に算出。その他は、(株)パローを対象に算出。